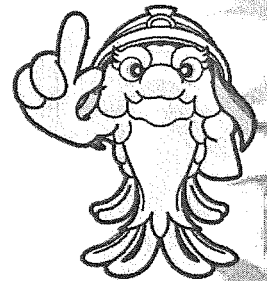
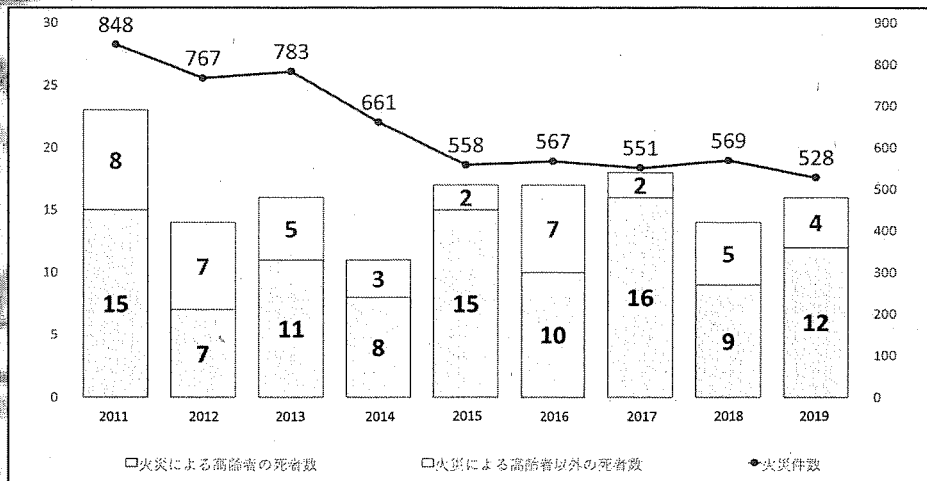


# 名古屋市消防局からの お知らせです！



## 火災による死者の推移



火災による死者はここ数年横ばいの状態が続いています



## 特に注意が必要な事項

- ・ 被害死の約9割が住宅火災
- ・ 被害死の約7割が高齢者
- ・ 原因はたばこが多い
- ・ 住宅用火災警報器は未設置が多い

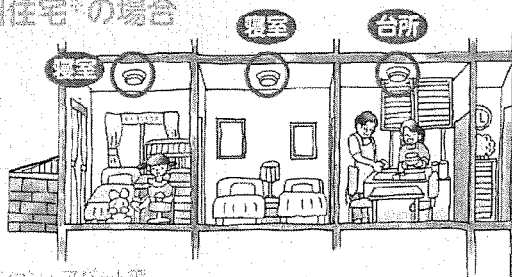
さらに「深夜に居室にて逃げ遅れる」というシチュエーションでの死者の発生が多くなっています



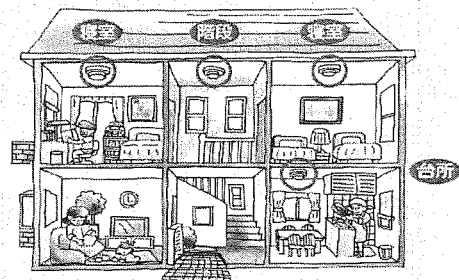
被害軽減のため住警器を設置しましょう

設置場所：【台所】【すべての寝室】【寝室が2階にある階段】

共同住宅の場合



戸建住宅の場合



設置・点検にご協力よろしくお願いします。

詳しくは

名古屋市 住警器

検索

名東消防署予防課

TEL:052-703-0119

住宅防火 いのちを守る 10のポイント  
～4つの習慣・6つの対策～

4つの習慣

- 1 寝たばこは絶対にしない、させない
- 2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない
- 3 こんろを使うときは火のそばを離れない
- 4 コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

6つの対策

- 1 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する
- 2 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- 3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する
- 4 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく
- 5 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- 6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

《住宅防火いのちを守る10のポイントの意義》

